

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

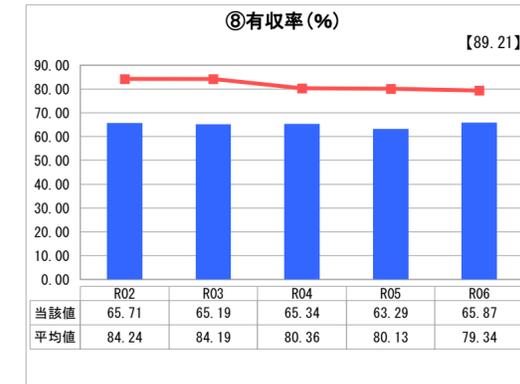
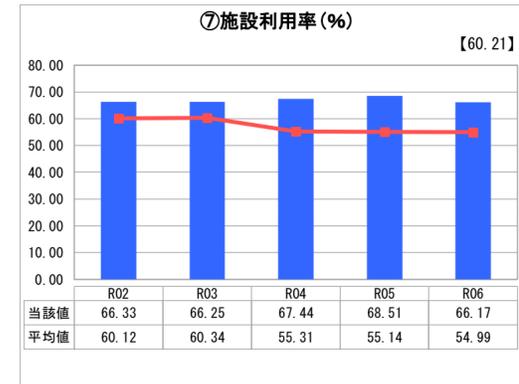
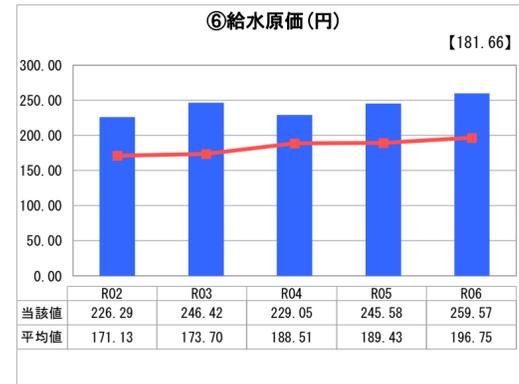
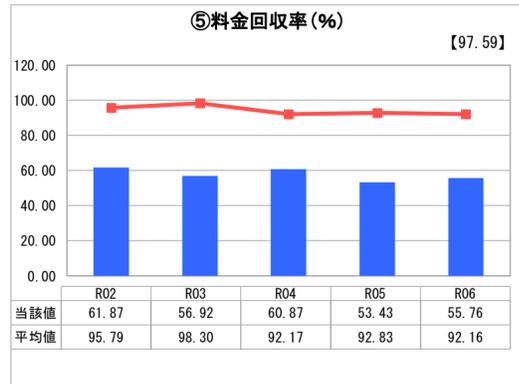
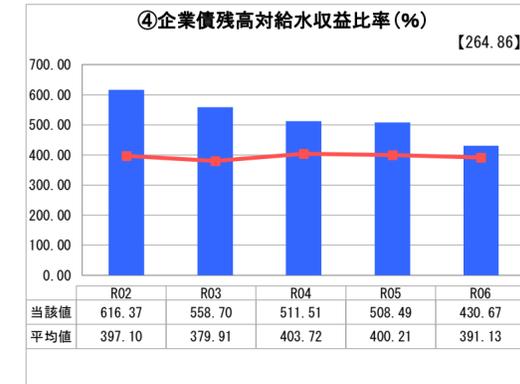
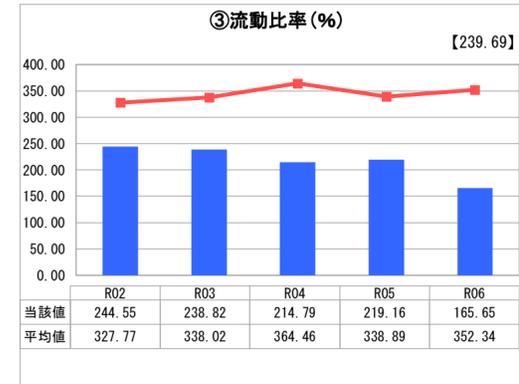
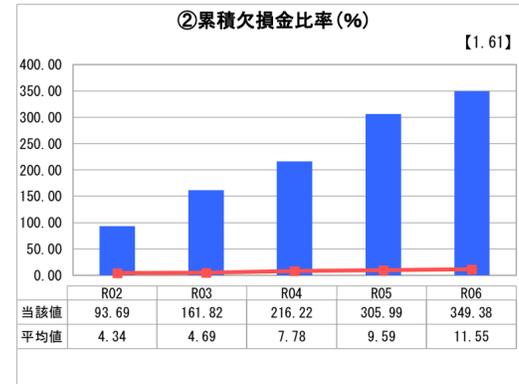
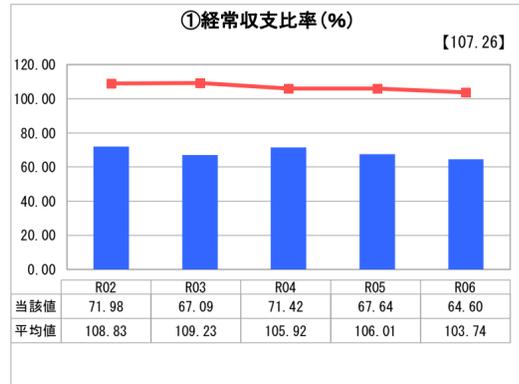
岐阜県 下呂市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	72.37	99.42	2,816	

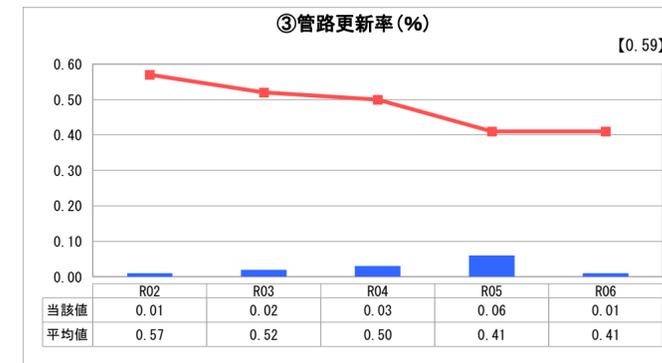
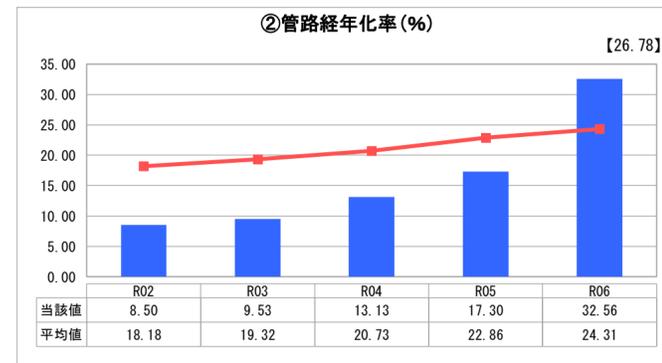
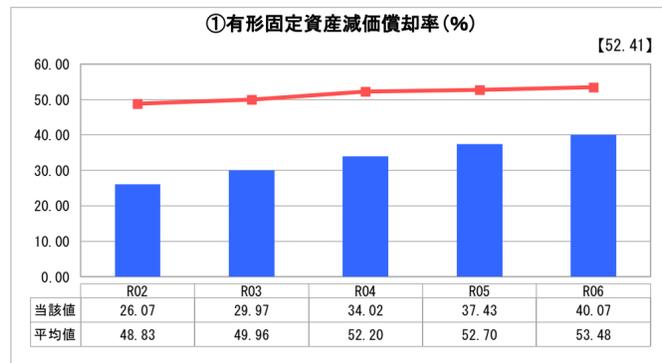
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
28,915	851.21	33.97
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
28,498	82.37	345.98

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

令和6年度の料金回収率は55.76%であり、類似団体平均92.16%と比べて著しく低い状態です。これは、給水にかかるコストの約半分強しか料金収入で賄っていないことを意味します。経常収支比率は令和2年度の71.98%から令和6年度は64.60%へと低下しており、赤字幅が拡大傾向にあります。給水原価259.57円が類似団体平均196.75円を大きく上回っています。また、有収率は65.87%と類似団体平均79.34%を大きく下回っており、生産した水の約3割以上が収益に結びついていない状態です。

### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、令和6年度の下呂市の数値は40.07%で、類似団体平均53.48%、全国平均は52.41%と約13ポイント低く、資産全体で見れば、類似団体と比較してまだ新しく、耐用年数に余裕のある施設を多く保有している状態と言えます。しかし、管路経年化率は、上昇傾向にあり管路更新率も、類似団体平均と比べて著しく低いため、管路が一斉に老朽化することが予想されます。

## 全体総括

下呂市水道事業における今後の取り組みとして、第一に、水道料金の適正化と収益性の改善です。現在の料金回収率は55.76%と類似団体平均92.16%を大きく下回り、経常収支比率も64.60%と赤字基調にあります。サービス提供コストに対して料金収入が著しく不足しているため、受益者負担の適正化を含めた料金体系の見直しを検討し、経営の健全性を高める必要があります。第二に、給水コストの削減と有収率の向上です。水1立方メートルあたりの給水原価は259.57円と高コストであり、有収率も65.87%と類似団体平均79.34%を下回っています。老朽管からの漏水対策等を強化し、無駄な送水を減らすことで、経営の効率化を図ることが急務です。第三に今後、管路の更新需要が増大することが予想されるため、重要給水施設に至る管路を優先的に更新するほか、アセットマネジメントを行い、計画的な管路、施設の更新を進めます。